

異常気象分析検討会(発足会)の開催について

平成18年豪雪のような社会経済に大きな影響を与える異常気象が発生した場合に、大学・研究機関等の専門家の協力を得て、異常気象に関する最新の科学的知見に基づく分析検討を行い、その発生要因等に関する見解を迅速に発表するため、異常気象分析検討会(以下、「検討会」)を設置することとしました。

第1回の検討会を下記のとおり開催いたします。

1. 日時 : 平成19年6月12日(火) 16:00~18:00
2. 場所 : 気象庁 大会議室 (5階)
3. 議事 :
 - ・異常気象分析検討会運営要領について
 - ・会長選出
 - ・異常気象分析体制の概要説明
 - ・分析検討の進め方
4. その他
 - ・検討会は非公開。

【連絡先】

気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課
電話 03-3212-8341(内線) 3152, 4145

異常気象分析検討会について

1. 検討対象事項

異常気象分析検討会は、平成16年の猛暑、平成18年豪雪、今年の暖冬などのように、大気大循環の異常が主要因で、比較的長期(2週間程度)にわたって持続した異常気象を分析検討の対象とする。

なお、台風・集中豪雨・突風など短期間・短時間の現象についても、これら現象発生の背景としての大気大循環の変動、地球温暖化等との関連について、必要に応じて、分析検討の対象とする。

2. メンバー構成

山崎孝治	北海道大学教授
岩崎俊樹	東北大学教授
山形俊男	東京大学教授
木本昌秀	東京大学教授
中村 尚	東京大学准教授
安成哲三	名古屋大学教授
向川 均	京都大学准教授
廣岡俊彦	九州大学教授
鬼頭昭雄	気象研究所気候研究部長
尾瀬智昭	同気候研究部第二研究室長

※ 会長は、委員の互選により選出